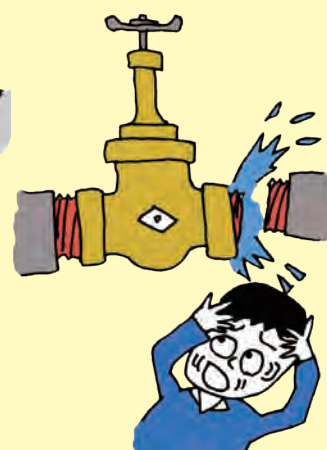
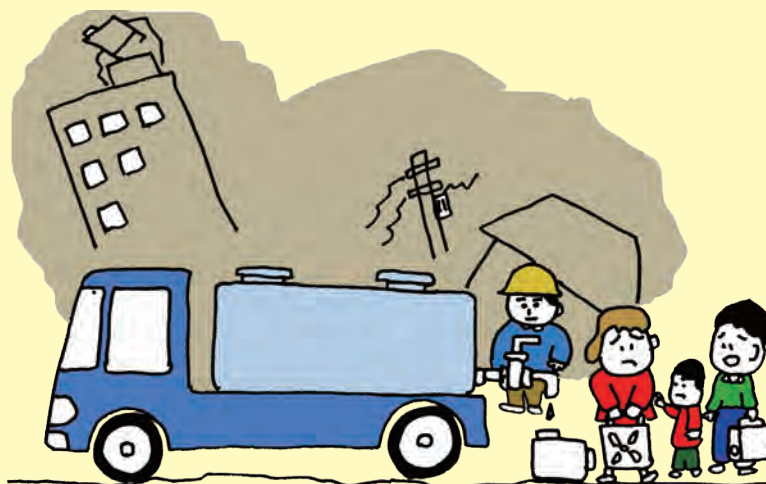
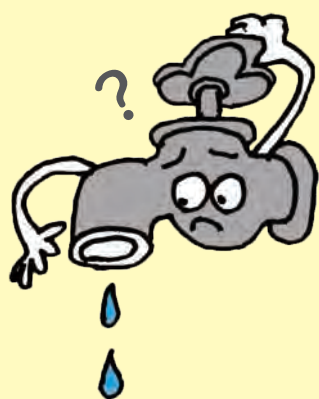


ライフラインを 地震から守るための対策 3

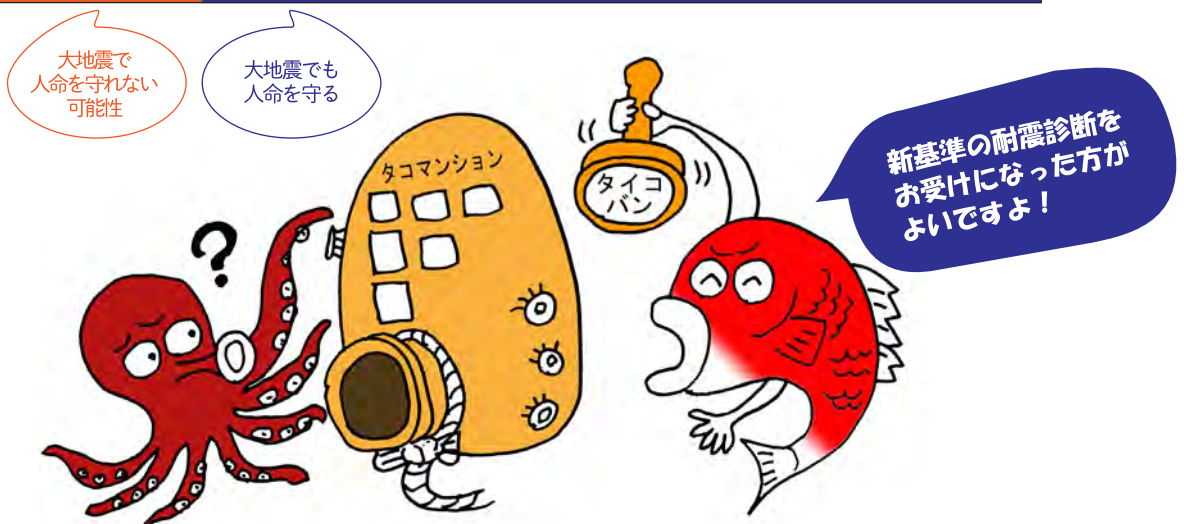
配管設備 編



建築設備の耐震基準

設備の耐震基準は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」（日本建築センター刊）が、行政上の指導書に位置付けられ、設備の耐震基準となっています。大地震による被害を受け規準を見直し、これまでに 1982 年版・1997 年版・1997 年版・2005 年版 2014 年版と改訂を重ねてきています。

	旧耐震基準 (~1981)	新耐震基準 (1981~)
主な地震と事件	<ul style="list-style-type: none"> ●1948(S23)年 福井地震 ●1968(S43)年 十勝沖地震 ●1978(S53)年 宮城県地震 	<ul style="list-style-type: none"> ●1995(H07)年 兵庫県南部地震 ●2005(H17)年 構造偽装事件 ●2011(H23)年 東北地方太平洋沖地震 ●2016(H28)年 熊本地震
建築関連法令の対応	<ul style="list-style-type: none"> ●1950(S25)年 建築基準法制定 ●1971(S46)年 建築基準法改正 	<ul style="list-style-type: none"> ★1981(S56)年 建築基準法改正 ●1995(H07)年 耐震改修促進法制定 ●2000(H12)年 建築基準法改正 ●2005(H17)年 建築基準法改正 ●2006(H18)年 建築基準法改正 ●2013(H26)年 耐震改修促進法改正
設備指針刊行		<ul style="list-style-type: none"> ●1982(S57)年 『建築設備耐震設計・施工指針』 ●1997(H09)年 『建築設備耐震設計・施工指針』および 『建築設備の耐震設計施工法』 ●2014(H26)年 『建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版』
	旧耐震基準 (~1981)	新耐震基準 (1981~)



大震災が起きた時に本当に困る事はなんでしょう？

給水が止まったら!?



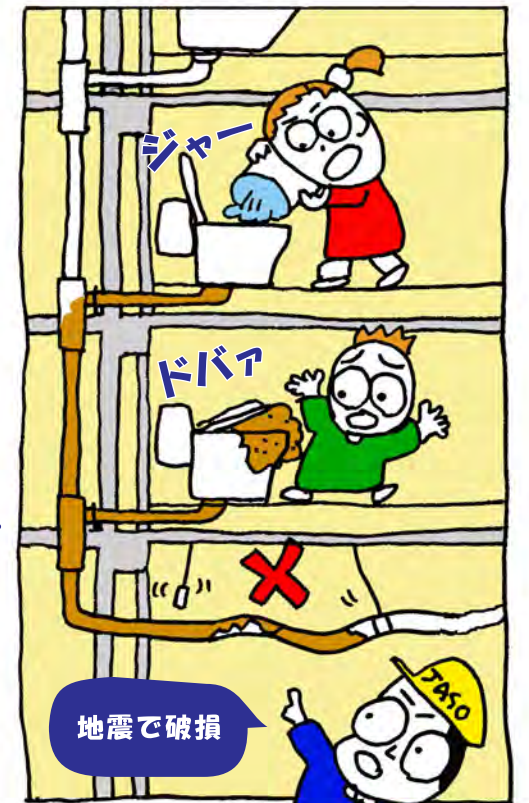
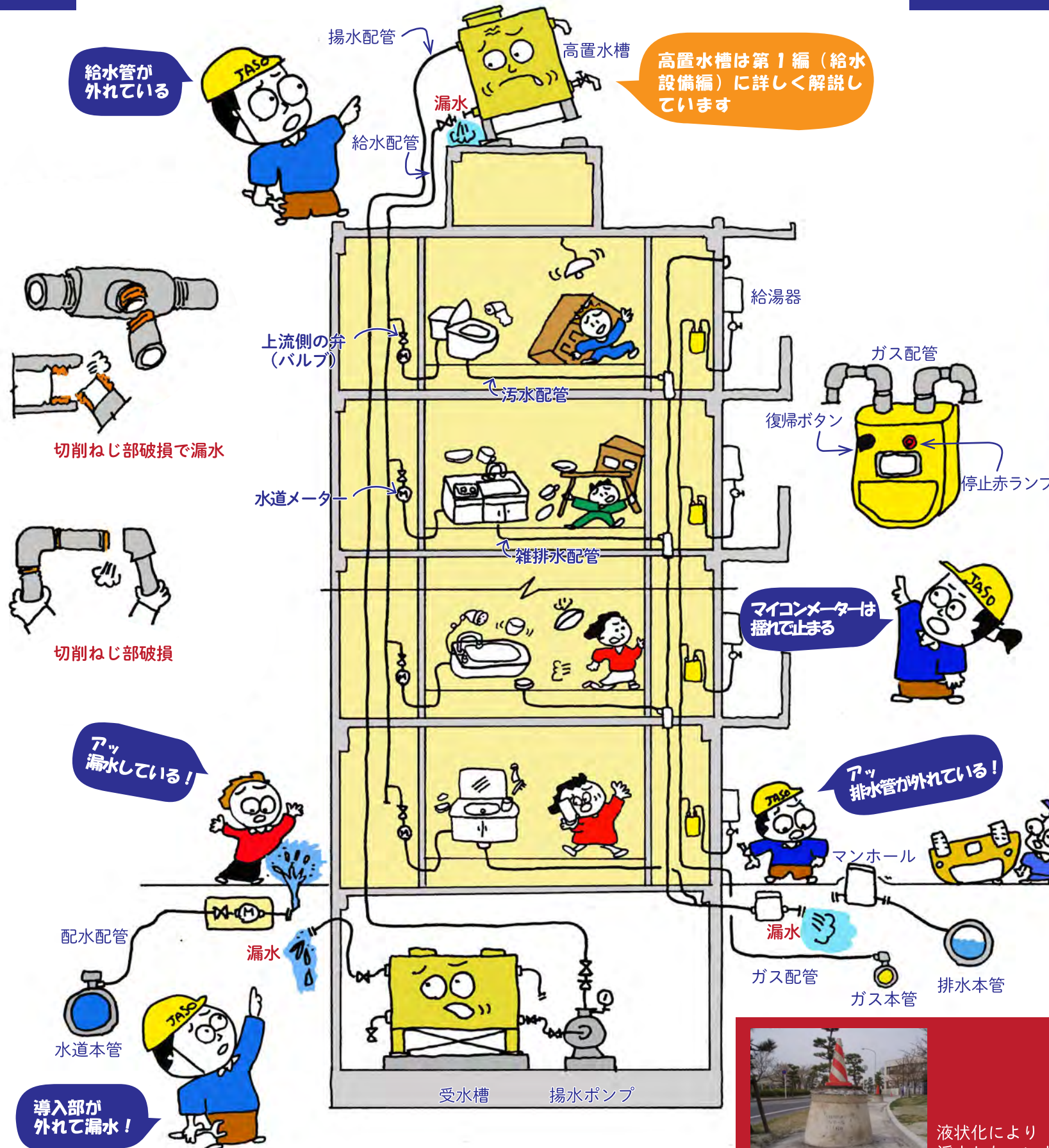
受水槽における水の備蓄対策例



緊急遮断弁は第2編（水の備蓄編）に詳しく解説しています

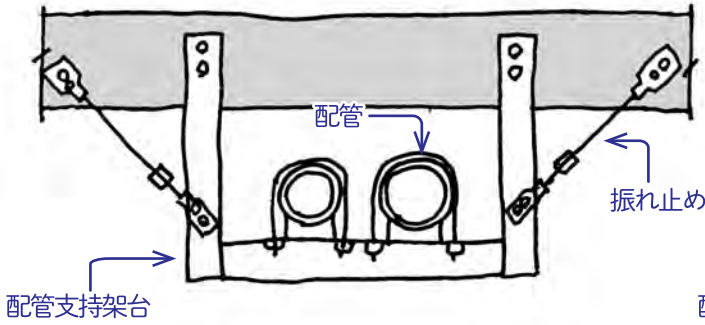
トイレが使えなくなったら!?

日々の生活に深刻な影響を及ぼす排泄物問題！

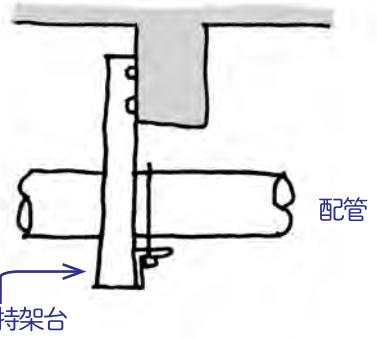


配管の耐震措置はどのようにすれば？

★支柱固定の強度を確認しよう



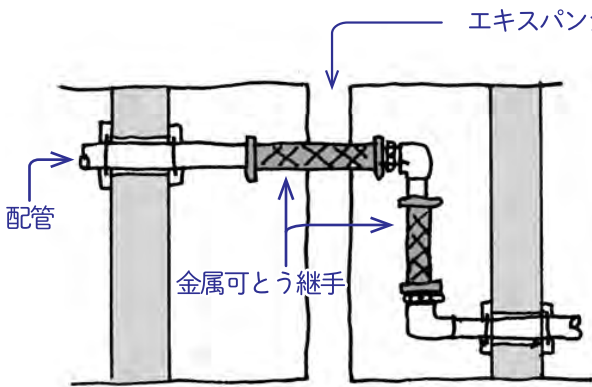
断面図



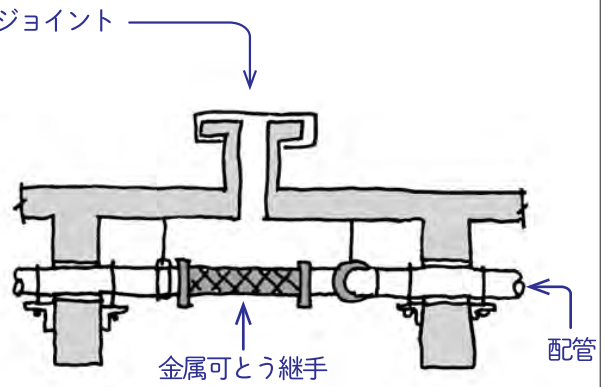
断面図

[横引き配管部]

★エキスパンションジョイントを通過する配管には可とう性のある継手を適切に設置しよう



平面図



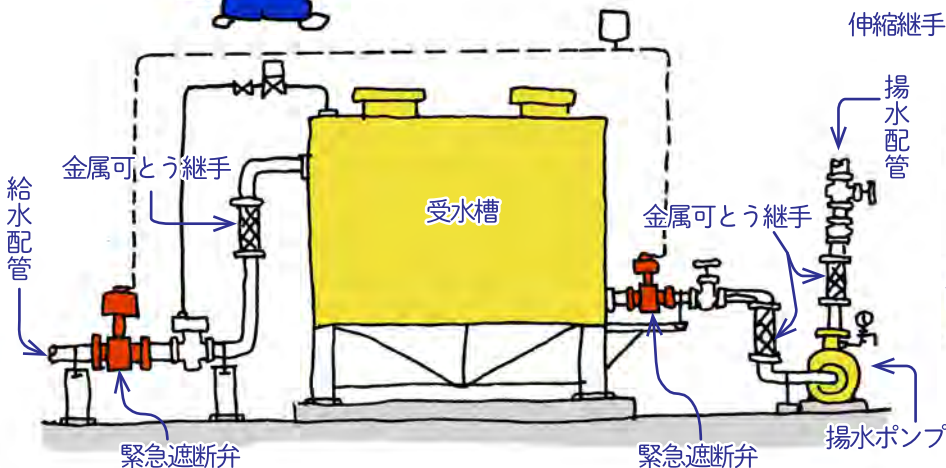
断面図

[建物エキスパンション部]

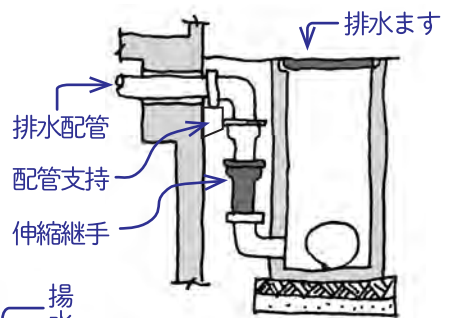


耐震診断を実施すること

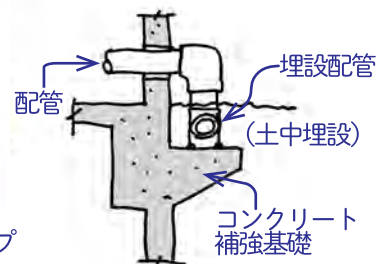
地震感知装置



[緊急遮断弁の設置]



[排水配管]



[建物外部埋設配管]

★緊急遮断弁がないと、配管が切断された時に水槽内の水が流出してしまいます

マンション共用配管が復旧した時の注意事項

①給水の復旧

公共の水道に続きマンション共用配管が復旧した時、各住戸内（留守宅等を含む）の給水管へ急に通水すると、破損した給水管から下階へ漏水事故を起こしてしまう恐れがあります。まずは水道メーター上流側の弁を閉めてから、住戸内全ての蛇口を閉め、ゆっくりとメーター上流側の弁を開けてください。しばらく経っても水道メーターの回転コマが回り放しであれば、室内の給水管が破損し漏水している可能性があります。その場合は、再度、メーター上流側の弁を閉め、修理を依頼してください。



②排水の復旧

マンション共用排水管の復旧が管理組合で確認された後、初めて住戸内から排水を流すことができます。しかし、管理組合も上下水道のプロではありません。上下階のお宅と連携を取りながら試し排水を行い、下階天井やパイプスペース周辺に異常がないか確認し合う事が大切です。排水の漏水が微量な場合は時間が経過しないと変化が現れません。埋設管破断の例もあります。少なくとも1年間コミュニケーションを密にし、変化がないか観察していきましょう。



③都市ガスの復旧

共用のガス配管が破損しているようであれば、ガス事業者による復旧作業を待つしかありません。そのような状況であれば、各戸のマイコンガスメーターは、自動的にガスの供給を遮断している状態と思われませんが、まずは住戸内全てのガス栓が閉まっていることを確認し、ガス事業者の指示に従ってください。マイコンガスメーターの復旧はご自身でも可能です。



特定非営利活動法人 (NPO)
耐震総合安全機構
Japan Aseismic Safety Organization

本部

〒112-0013
東京都文京区音羽 1-20-16 PAL 音羽ビル7階
TEL : 03-6912-0772 FAX : 03-6912-0773
E-mail: info@jaso.jp URL: https://www.jaso.jp

近畿支部

〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町 2-5-8 綿業会館 4 階
(公社) 日本建築家協会 近畿支部内
TEL : 06-6229-3371 FAX:06-6229-3374

東海支部

〒464-0075
愛知県名古屋千種区内山 1-17-17
TEL : 052-733-2887 FAX:052-733-2481



●本部最寄駅：護国寺（東京外口有楽町線）